



# 施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

**1** □ クイックファスナーを正しく取り付けられていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

折り曲げる 軽く回ること

\*クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

**2** □ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと水勢強さが得られないことがあります。

**3** □ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。
- \*洗浄中、ノズルの左から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。【P.13】

**4** □ 電源は入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

**5** □ 温水タンクに水が入っていますか

- 施工完了後、ノズル清掃スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

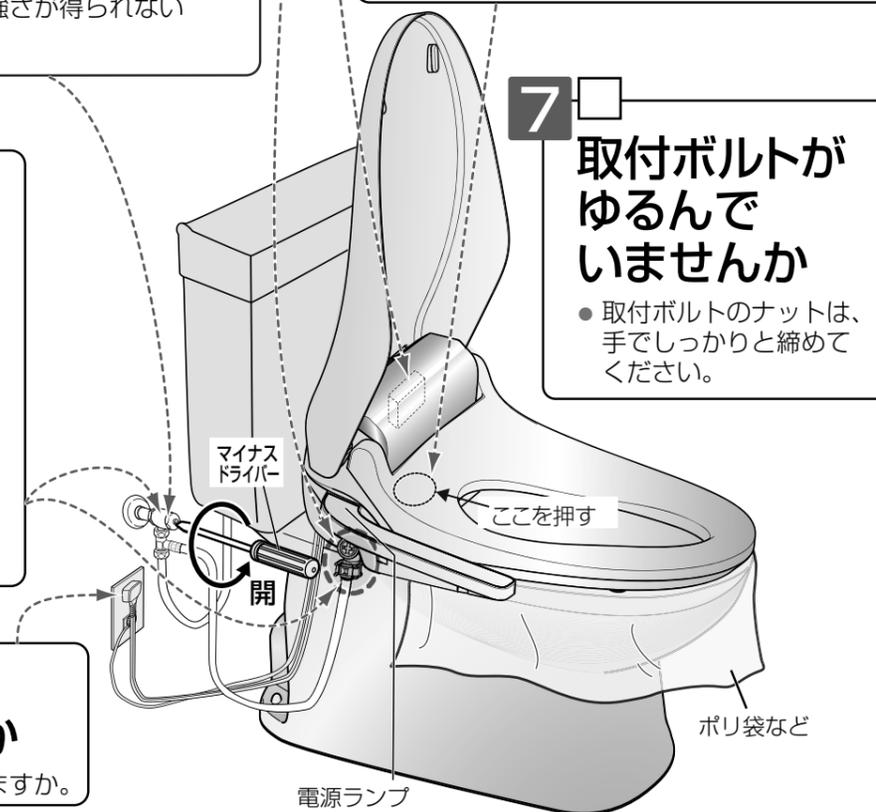
**6** □ 着座センサーは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

便座の左後部を押しながら、**点灯** (着座) または (おし) を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

**7** □ 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



# Janis

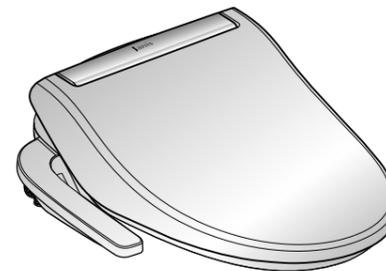
## 温水洗浄便座

# SawaLet

サワレット

## 施工説明書

# JCS-610ENN



	ページ		
1	●安全上のご注意	2	準備
	●施工の前に	3	
	●各部の名前と同梱部品の確認	4	
2	●施工の流れ	6	施工
	● <u>取り替えの場合</u> ●止水栓を閉め、給水ホースを外す	7	
3	● <u>新規設置の場合</u> ●分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける	7	取付
	●本体を取り付ける	8	
4	●給水ホースを本体に取り付ける	10	
	●アース線の接続	11	
	●止水栓を開ける	11	
4	●試運転	12	試運転
5	●こんなときは	14	確認
	●施工完了チェックシート	裏表紙	

### 家庭用

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」【P.2】は、施工前に必ずお読みください。

●施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

お願い ●試運転は、必ず行ってください。【P.12】 配管方法などはイラストと異なる場合があります。

## ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL(0569)35-3151 FAX(0569)34-6634



ADL944PZXRCO  
CS0220-0

# 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

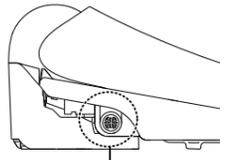
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

## 警告

- 
  - コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない  
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)
  - 電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない  
(傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因)
  - 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない  
(感電や発熱による火災の原因)
  - ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない  
(感電の原因)
  - 上水道以外には接続しない  
(ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因)  
(腐食や異物付着による水漏れの原因)
  - バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない  
(感電や火災の原因)

- 
  - D種接地工事を行う  
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)
  - 電源プラグは根元まで確実に差し込む  
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因)
  - 施工は、施工説明書に従って確実にを行う  
(説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因)
  - 施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する  
(指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因)
  - 電気工事は、内線規程に従って施工する  
(内線規程に従わないと、火災、感電の原因)
  - コンセントのアース端子にアース線を取り付ける  
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

## 注意

- 
    - 本体接続口は、落下等でストレスをかけない  
(ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因)
- 
- 本体接続口

- 
  - 水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う  
(条例に基づいて行わないと、水漏れの原因)
  - 移動や施工時、本体を持つ  
(便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因)

# 施工の前に

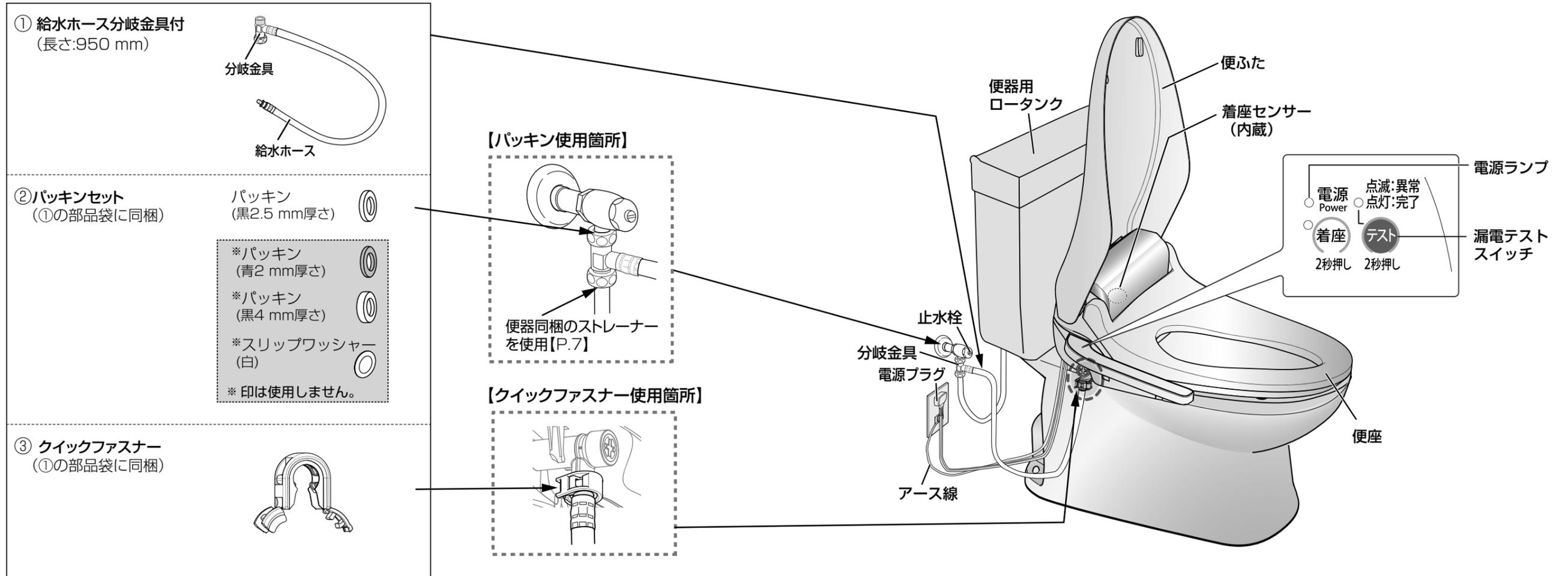
- お願い**
  - 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
  - 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
  - 必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。
- お知らせ**
  - この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出る場合がありますが、故障ではありません。
  - 使用水圧範囲は49~735 kPa{ 0.5~7.5 kgf/cm<sup>2</sup> }です。
  - 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座が浮いた状態で、便座の強度に問題ありません。【P.13】

## ご準備いただくもの

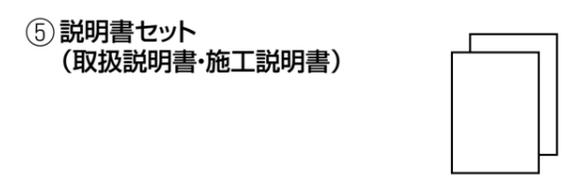
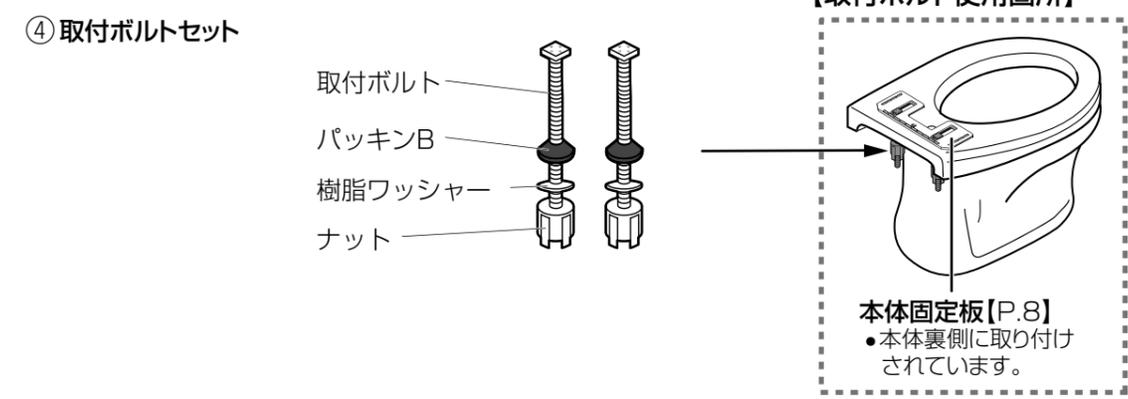


準備

# 各部の名前と同梱部品の確認



準備



**警告**

■ 分岐金具接続時にシールテープを使用しない  
(シールテープがパッキンに挟み込み水漏れのおそれあり)

■ 同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する  
(取り付け忘れや、他の部品で接続すると重大な水漏れのおそれあり)

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。  チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
②	パッキンセット (パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 ※パッキン 青2 mm厚さ×1 ※パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 ※スリップワッシャー (白)×1 ※印は使用しません。)	1	<input type="checkbox"/> (①の部品袋に同梱)
③	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (①の部品袋に同梱)
④	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑤	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>

# 施工の流れ

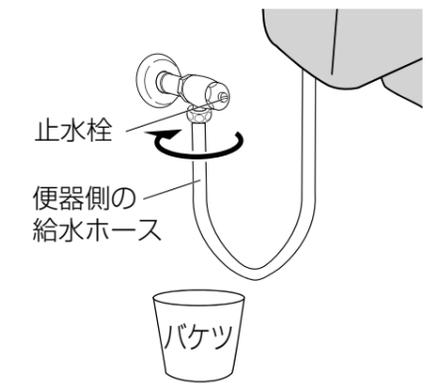
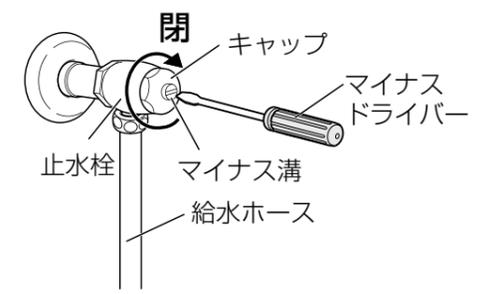
取り替えの場合	止水栓を閉め、給水ホースを外す	P.7
新規設置の場合	分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける	P.7
▼		
	本体を取り付ける	P.8
▼		
	給水ホースを本体に取り付ける	P.10
▼		
	アース線の接続	P.11
▼		
	止水栓を開ける	P.11
▼		
	試運転	P.12
▼		
	施工完了チェックシートで確認する	裏表紙

## 取り替えの場合

# 止水栓を閉め、給水ホースを外す

止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流しきってください。

- 1 止水栓を閉める
- 2 便器側の給水ホースを外す



● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

## 新規設置の場合

# 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

- 1 分岐金具を止水栓に取り付ける

★は、同梱部品です。



**〈分岐金具の締め付け方〉**

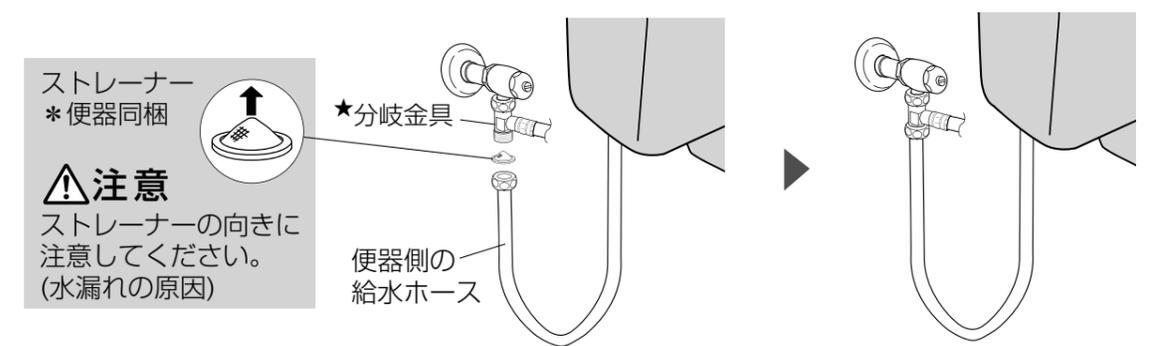
回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

手で仮締めをし、スパナ等で締め付ける

給水ホース

締め付トルク 7.5 N·m{75 kgf·cm}  
指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

- 2 便器側の給水ホースを分岐金具に接続する



**⚠ 注意**  
ストレーナーの向きに注意してください。(水漏れの原因)

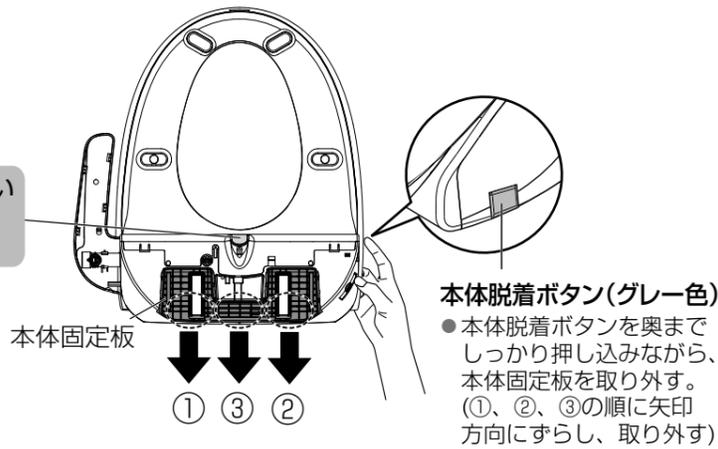
施工

# 本体を取り付ける

## ① 本体固定板を取り外す

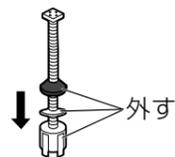
本体裏面より本体固定板を取り外す。

ノズル収納部は絶対に押さないでください。  
(ノズルが出なくなる原因)

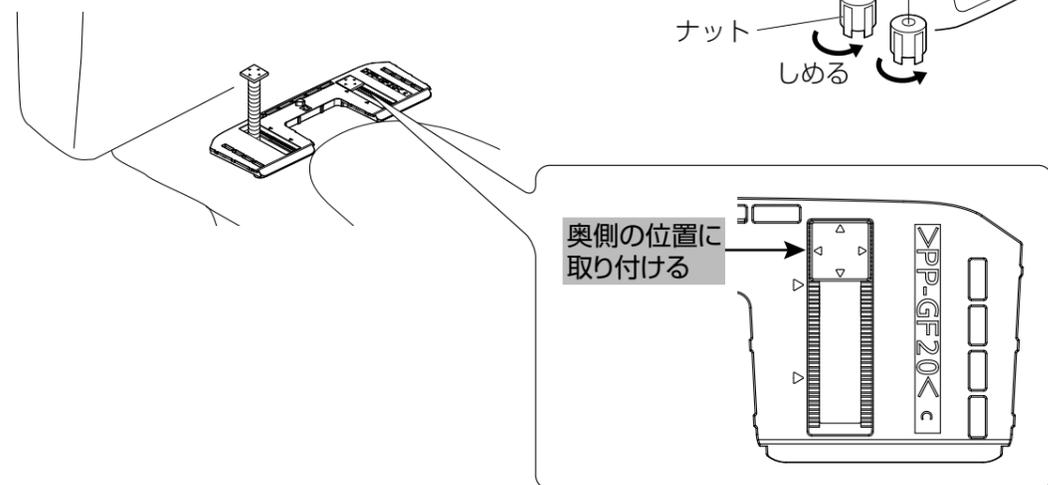


## ② 本体固定板を取り付ける

1. 取付ボルトより各部品を取り外す。



2. 取付ボルトを本体固定板の奥側の位置に取り付ける。  
(取付ボルトに方向性はありません)



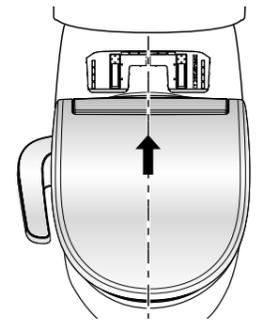
3. 本体固定板が動かないようナットを手で回し、しっかり締め付ける。

お願い 工具でナットを締め付けしないでください。

## ③ 本体を取り付ける

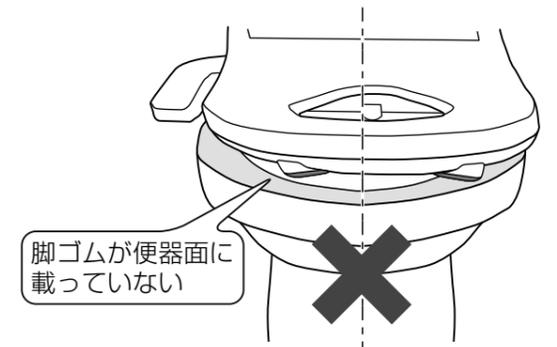
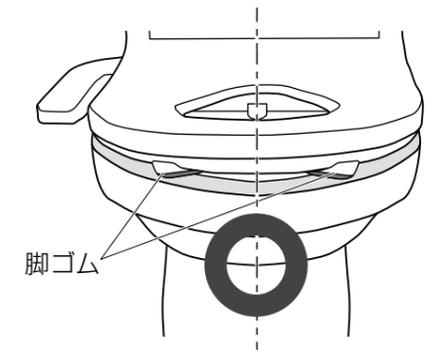
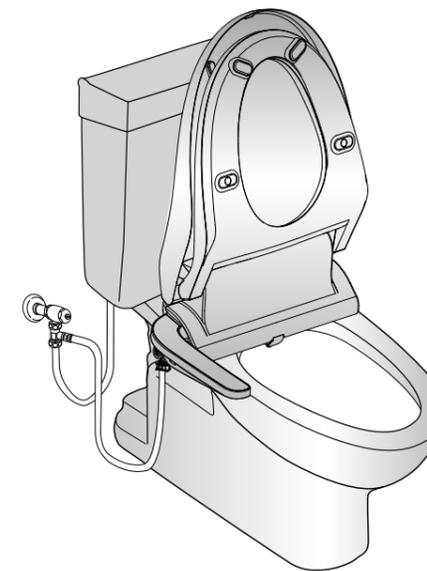
1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
2. 便器面から本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。  
● 電源コードをはさみ込まないようにしてください。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しかたつきが生じることがありますが異常ではありません。



お願い ● 便座が自立することを確認してください。

● 便座を上げて、着座した際に脚ゴムが便器上面に左右均等に接していることを確認してください。



\* 脚ゴムが便器面から脱落していると着座検知しない原因となります。

本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

取付

# 給水ホースを本体に取り付ける

**重要：クイックファスナーを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因**

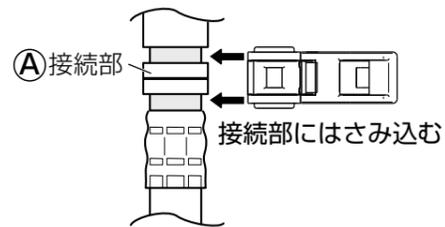
**1 本体への接続**（作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【P.9】）

1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。

**ご注意** 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

**お願い** 既設の給水ホースは使用しないでください。（劣化により水漏れの原因）

2.クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。（「パチッ」と音がするまで差し込む）

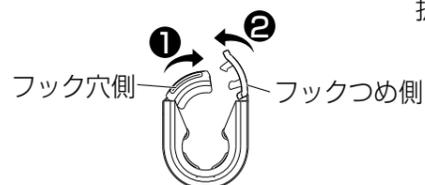


3.フックを確実に固定する

①フック穴側を折り曲げる

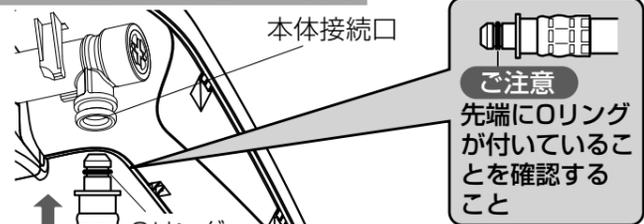
②フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する

（「パチッ」と音がするまで固定する）

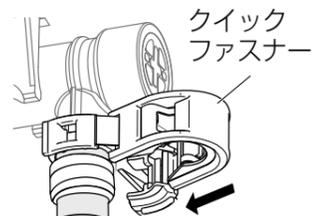


4.給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。

\*軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けられていません。



**ご注意** 先端にOリングが付いていることを確認すること



**お願い**

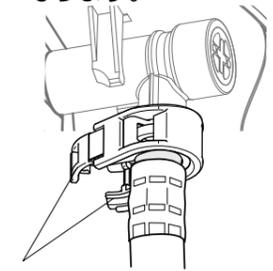
●フックが閉じないときは、**A**接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

**ご注意**

●給水ホースは切断しない  
●給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない  
●本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

**悪い接続例**

\*フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。



フックが固定されていない

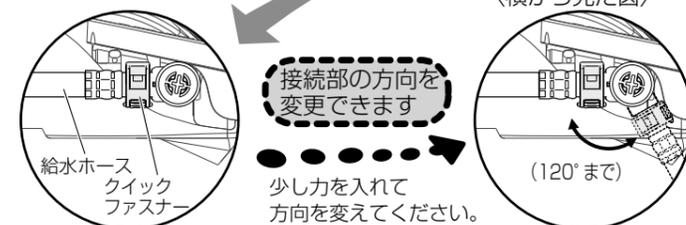


見やすい位置に回してフックを固定する

軽く回ること

本体接続口

〈横から見た図〉



接続部の方向を変更できます

少し力を入れて方向を変えてください。

(120°まで)

**2 必ず確認**

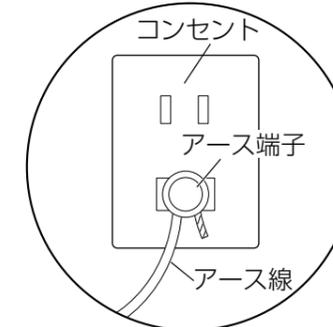
●クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。

●給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。

# アース線の接続

**必ずコンセント側へ接続してください**

（アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください）



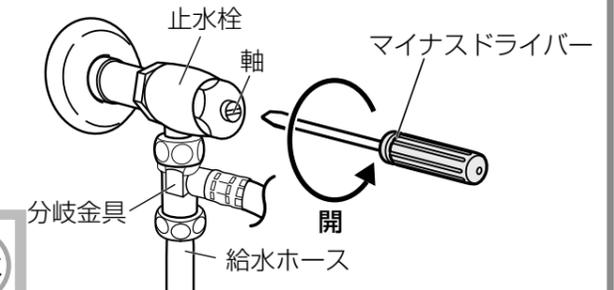
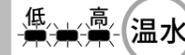
上図はアース付きコンセントの一例です。

# 止水栓を開ける

各接続部がきちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓が閉まっている場合は、元栓を十分に開けてください。
- 止水栓の軸をゆっくり開けてください。接続部などからの水漏れがないことを確認してください。

十分に開いていないと低流量異常（温水ランプが全点滅）が発生する場合があります。



取付

# 試運転

- 1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する  
(十分開いていないと水勢強さが得られないことがあります)  
給水接続部から水漏れがないことを確認する

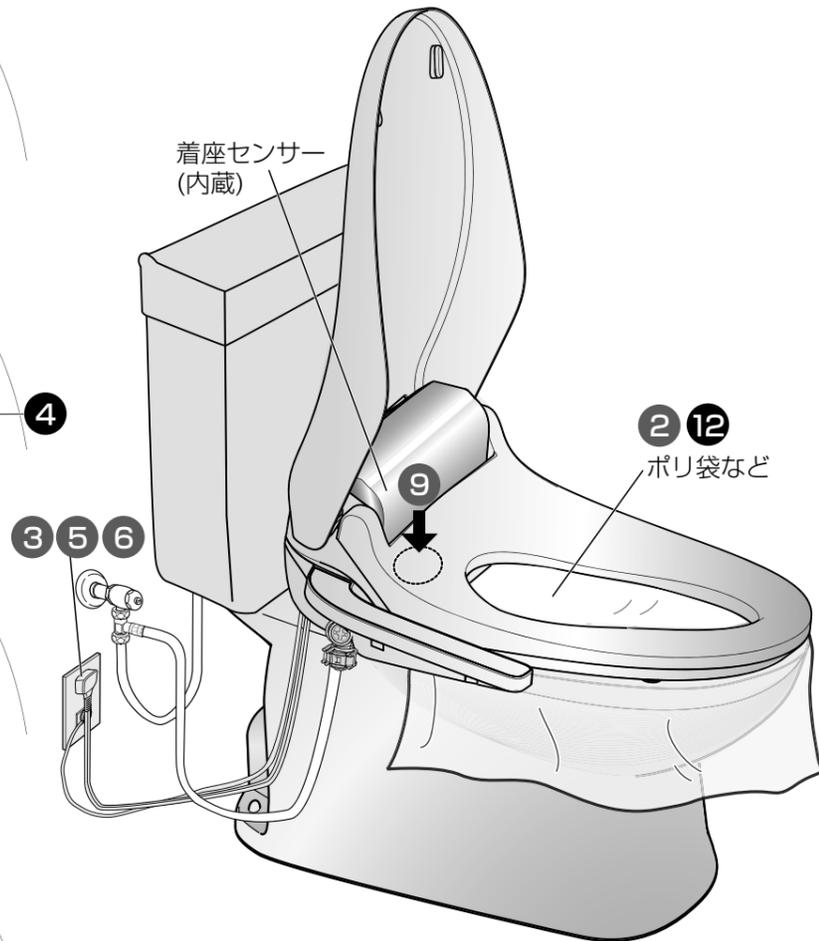
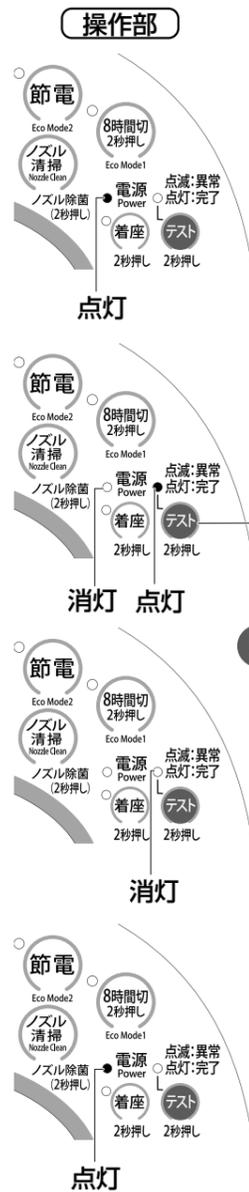
- 2 本体梱包用のポリ袋などはさむ  
(便座と便器の間)

- 3 電源プラグを差し込む  
●電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。

- 4 漏電テストスイッチを2秒以上押す  
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。  
●漏電テストランプ(赤)点灯。  
●電源ランプ(緑)消灯。

- 5 電源プラグを抜く  
●漏電テストランプが消灯することを確認する。

- 6 電源プラグを差し込む  
●電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。  
●温水温度設定が消灯していることを確認する。



- お知らせ**
- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
  - 洗浄停止後、約7~8分間はノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。

- 7 **ノズル清掃** を押す  
●本体の温水タンクに注水を始めます。  
ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。  
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

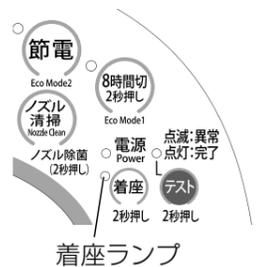
## 温水タンク内の空焚きについて

- 手順7の時点で、温水温度ランプの「低」「中」「高」が全点滅している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。**故障ではありません。**  
(以下の処置をする)  
●水道の元栓、止水栓を開き、手順7から試運転を行う。  
(温水温度ランプは消灯します)



- 8 **止** を押す  
●ノズルが元に戻ります。

- 9 便座の左後部を押しながら (着座ランプ点灯) **おしり** または **ビデ** を押す  
●ノズルを洗浄し、約5~8秒後に洗浄水が出ます。  
(着座検知していないと、洗浄水が出ません)



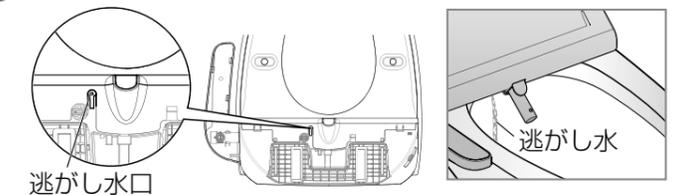
- 10 **止** を押す  
●ノズルが戻った後、ノズルを洗浄する水が出ます。

- 11 **便座** と **温水** のスイッチで温度設定し、通電約5~12分後に便座と洗浄水のあたたかさを確認する  
●ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

- 12 **ポリ袋を外す**

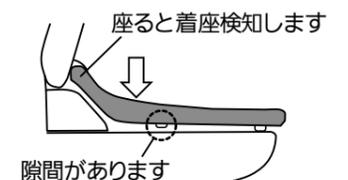
## 水圧調整の逃がし水について

- 逃がし水口(ノズルの左)から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。



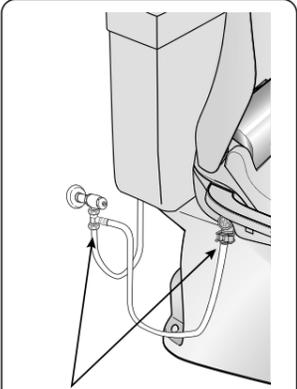
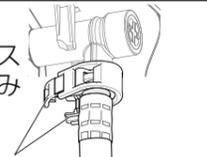
## 着座検知について

- 便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。  
この浮き(隙間)がないと座ったときに着座検知しません。



# こんなときは

# メモ欄

現象	考えられる原因と処置方法		参照ページ
温水温度ランプの「低」「中」「高」が全点滅する 	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の元栓、止水栓が十分に開いていない</li> <li>温水タンクに注水する前に温水の温度設定を行った</li> </ul>	水道の元栓、止水栓を十分に開いていることを確認し、再度試運転を行う	11 13
洗浄水が出ない 水勢強さが弱い	水道水フィルター（水抜き栓）がつまっている 	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	—
	止水栓が十分に開いていない	止水栓を十分に開く	11
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	—
 接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	10
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	7
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	7
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ  フックが固定されていない	確実に固定する  軽く回ること	10
電源が入らない	漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電テストランプが点灯） 	電源プラグを抜き、漏電テストランプが消灯してから電源プラグを差し込む 	12
ノズル付近から水が出ている  逃がし水	洗浄中、ノズルの左から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。		13

**施工後の注意** 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防のしかた・長期間使用しないときは」参照）

確認